



平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 5 月 15 日

上場会社名 株式会社 B B H 上場取引所 J A S D A Q  
 コード番号 3 7 1 9 URL http://www.bbanc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 弘之  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 齊藤 茂行 TEL (03) 3544 - 6631

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 (△損失)		経常利益 (△損失)		四半期(当期)純利益 (△損失)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 12 月期第 1 四半期	448	(△74.1)	△80	(-)	△90	(-)	△84	(-)
19 年 12 月期第 1 四半期	1,729	(△44.6)	△86	(-)	△92	(-)	158	(177.0)
(参考) 19 年 12 月期	4,412		△212		△194		△606	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 12 月期第 1 四半期	△11	12		—
19 年 12 月期第 1 四半期	32	77		—
(参考) 19 年 12 月期	△120	08		—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 12 月期第 1 四半期	2,821		1,516		38.4	142	78	
19 年 12 月期第 1 四半期	7,424		2,418		18.9	288	87	
(参考) 19 年 12 月期	2,826		1,364		47.1	175	53	

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
	(基準日) 第 1 四半期末	
	円	銭
20 年 12 月期第 1 四半期		—
19 年 12 月期第 1 四半期		—

3. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	951	(△251.5)	△19	(-)	△11	(-)	△11	(-)	△1	50
通期	2,001	(△54.7)	45	(-)	60	(-)	17	(-)	2	35

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子  
会社の異動) : 有  
[新規1社(社名 株式会社レイズキャピタルマネジメント) 除外0社]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油価格の高騰、米国で発生したサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、株価の下落等景気先行き不安とともに、好景気ムードも終焉をむかえつつあります。このような景況の転換期におきまして、当社グループでは、前連結会計年度のグループ再編成から、経営資源の再分配を図るなどの中長期的なテーマにも積極的に取り組んでおります。

具体的には、子会社である株式会社ジェクシードコンサルティングにおいて前連結会計年度から積極的な人員補強を図りました。また、管理面においては内部統制対応に向けた新たなルールの構築と展開を始めております。しかしながら、新規採用を行った人材について、育成期間でもあり、未だ大幅な業績回復にはいたっていないことに加え、前第1四半期において、事業の集中と選択を推進した結果、債権・不動産投資事業を行ってございました株式会社ユニファイド・キャピタル・ジャパン（前第1四半期売上高44百万円。平成19年1月売却）の売却、施設運営事業を行っております株式会社中野サンプラザにつきましては持分法適用関連会社に変更したことに伴い平成19年7月より連結売上高（前第1四半期売上高908百万円）と、前第1四半期と比較して1,281百万円と大幅に減収しております。

その結果、当社グループの業績は、連結売上高は、448百万円（前第1四半期比74.1%減）となり、営業損失は80百万円（前第1四半期86百万円）、経常損失は90百万円（前第1四半期92百万円）、四半期純損失は84百万円（前第1四半期158百万円）となっております。なお、前第1四半期には特別利益として、株式会社ユニファイド・キャピタル・ジャパンの株式売却益284百万円が含まれております。

## &lt;コンサルティング事業&gt;

弊社グループのコンサルティング事業の内、ビジネスコンサルティング分野におきましては、J-Sox 対応支援コンサルティングで当初見込みを上回る受注を確保するなど、好調に推移しております。

システムコンサルティング分野におきましては、積極的な人材の採用活動を行い、サービス提供体制の強化に取り組んでおりますが、新規採用した人材の育成期間による全体的な稼働率の低下や、厳しい価格競争の影響等により、緩やかな伸長となっております。

金融アドバイザー分野におきましては、会社更生法申し立てに伴う再生コンサルティング、M&A コンサルティング等において実績を残しました。その結果、コンサルティング事業の売上高は、439百万円（前第1四半期比5.1%増）となりました。

## &lt;機器販売・その他事業&gt;

当第1四半期において、株式会社レイズキャピタルマネジメントが運営するファンドの投資先株式の一部を売却した事により、21百万円の売上を計上しております。また、純粋持株会社である株式会社BBHが、子会社に対する経営管理料や事務所の転貸しによる賃借料によって、66百万円の売上を計上しておりますが、セグメント間の取引として消去されております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が5百万円、負債が157百万円減少し、純資産が151百万円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度における連結子会社の売却や除外に伴い、現金及び預金が228百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて198百万円減少し1,665百万円となりました。

固定資産は、主に投資有価証券が189百万円、有形固定資産が6百万円増加したため前連結会計年度末に比

べて192百万円増加し1,155百万円となりました。

負債は、主に借入金が増加したことから前連結会計年度末に比べて157百万円減少し1,305百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加し、少数株主持分が、400百万円増加したことから前連結会計年度末に比べて151百万円増加し1,516百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成20年2月22日に公表しました業績予想に変更はありません。なお、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動は、御座いません。

なお、当社は平成19年12月25日開催の取締役会決議に基づき、株式会社スター・キャピタル・パートナーズの実施する第三者割当増資の引受に応じ、平成20年1月8日に払込をおこない、平成20年1月8日より持分法適用関連会社といたしました。

当社は平成20年2月18日開催の取締役会決議に基づき、株式会社レイズキャピタルマネジメント（旧商号：株式会社夢真キャピタル）の全株式を取得し、子会社といたしました。同社について、平成20年2月18日から当社連結範囲に含めております。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等については、簡便な方法を採用しております。

また、その他影響額が僅少なものについて一部簡便な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	2,013,748	1,162,199	△851,548	△42.3	1,390,617
2. 売掛金	586,518	289,785	△296,732	△50.6	265,776
3. 営業投資有価証券	252,914	30,000	△222,914	△88.1	30,000
4. たな卸資産	44,802	5,620	△39,181	△87.5	2,864
5. 未収入金	2,005,263	282	△2,004,980	△99.9	30,089
6. その他	332,941	209,758	△123,182	△37.0	176,800
7. 貸倒引当金	△32,745	△31,794	950	2.9	△31,794
流動資産合計	5,203,442	1,665,853	△3,537,589	△68.0	1,864,354
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産	707,789	17,471	△690,318	△97.5	11,430
2. 無形固定資産					
(1) のれん	—	1,166	1,166	—	—
(2) その他	198,709	92,100	△106,609	△53.7	100,547
無形固定資産合計	198,709	93,266	△105,442	△53.1	100,547
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	788,330	953,842	165,511	21.0	764,136
(2) 敷金及び保証金	314,692	77,268	△237,424	△75.4	73,216
(3) その他	213,205	13,714	△199,491	△93.6	13,305
(4) 貸倒引当金	△2,122	—	2,122	—	—
投資その他の資産合計	1,314,106	1,044,825	△269,281	△20.5	850,658
固定資産合計	2,220,605	1,155,563	△1,065,041	△48.0	962,637
資産合計	7,424,048	2,821,416	△4,602,631	△62.0	2,826,991
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 買掛金	203,149	85,898	△117,250	△57.7	79,206
2. 短期借入金	312,000	—	△312,000	—	37,500
3. 一年内返済予定の 長期借入金	546,848	200,000	△346,848	△63.4	200,000
4. 未払金	177,031	42,485	△134,545	△76.0	117,153
5. 賞与引当金	55,464	31,424	△24,040	△43.3	35,634
6. その他	478,511	55,693	△422,817	△88.4	27,215
流動負債合計	1,773,004	415,502	△1,357,501	△76.6	496,709

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>II 固定負債</b>					
1. 社債	1,800,000	700,000	△1,100,000	△61.1	700,000
2. 長期借入金	1,233,176	175,000	△1,058,176	△85.8	250,000
3. 退職給付引当金	43,610	14,566	△29,044	△66.6	14,658
4. 負ののれん	68,825	—	△68,825	—	—
5. その他	87,107	—	△87,107	—	980
固定負債合計	3,232,720	889,566	△2,343,153	△72.5	965,638
負債合計	5,005,724	1,305,069	△3,700,655	△73.9	1,462,348
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	507,732	778,663	270,931	53.4	778,663
2. 資本剰余金	513,182	784,113	270,931	52.8	784,113
3. 利益剰余金	590,033	△412,025	△1,002,058	—	△175,472
4. 自己株式	△57,160	△57,179	△19	△0.0	△57,160
株主資本合計	1,553,788	1,093,571	△460,216	△29.6	1,330,144
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券 評価差額金	△152,212	△10,460	141,751	—	1,428
評価・換算差額等合計	△152,212	△10,460	141,751	—	1,428
<b>III 新株予約権</b>	10,239	33,069	22,830	223.0	33,069
<b>IV 少数株主持分</b>	1,006,508	400,166	△606,342	△60.2	—
純資産合計	2,418,323	1,516,347	△901,976	△37.3	1,364,643
負債純資産合計	7,424,048	2,821,416	△4,602,631	△62.0	2,826,991

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	1,729,626	448,000	△1,281,626	△74.1	4,412,997
<b>II 売上原価</b>	1,397,980	361,730	△1,036,250	△74.1	3,521,396
売上総利益	331,645	86,269	△245,376	△74.0	891,600
<b>III 販売費及び 一般管理費</b>	418,061	166,624	△251,437	△60.1	1,103,711
営業利益 (△営業損失)	△86,415	△80,354	6,060	—	△212,110
<b>IV 営業外収益</b>	16,876	1,577	△15,298	△90.7	74,166
<b>V 営業外費用</b>	22,547	11,292	△11,254	△49.9	57,019
経常利益 (△経常損失)	△92,086	△90,069	2,016	—	△194,963
<b>VI 特別利益</b>	284,700	1,162	△283,537	△99.6	313,892
<b>VII 特別損失</b>	—	1,502	1,502	—	620,607
匿名組合損益分配前税 金等調整前四半期(当 期)純利益(△損失)	192,614	△90,408	△283,023	—	△501,679
匿名組合損益分配金	5,252	—	△5,252	—	5,252
税金等調整前四半期(当 期)純利益 (△税金等調整前四半期 (当期)純損失)	187,362	△90,408	△277,771	—	△506,931
税金費用	16,810	5,195	△11,614	△69.1	75,786
少数株主利益(△損失)	11,568	△11,219	△22,787	—	23,804
四半期(当期)純利益 (△四半期(当期)純損失)	158,983	△84,385	△243,368	—	△606,522

(注)記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成19年12月期第1四半期）

（単位：千円）

	コンサルティング事業	施設運営事業	債権・不動産投資事業	機器販売その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	417,312	1,262,057	44,028	6,228	1,729,626	—	1,729,626

当四半期（平成20年12月期第1四半期）

（単位：千円）

	コンサルティング事業	施設運営事業	債権・不動産投資事業	機器販売その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	439,790	—	—	66,226	506,016	△58,016	448,000

（参考）前期（平成19年12月期）

（単位：千円）

	コンサルティング事業	施設運営事業	債権・不動産投資事業	機器販売その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	1,782,157	2,575,702	43,863	14,477	4,416,201	△3,203	4,412,997

〔所在地別セグメント情報〕

当社グループは、前第1四半期（自平成19年1月1日至平成19年3月31日）、当第1四半期（自平成20年1月1日至平成20年3月31日）、及び前期（自平成19年1月1日至平成19年12月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当社グループは、前第1四半期（自平成19年1月1日至平成19年3月31日）、当第1四半期（自平成20年1月1日至平成20年3月31日）、及び前期（自平成19年1月1日至平成19年12月31日）において、海外売上高がないため、該当事項はありません。